

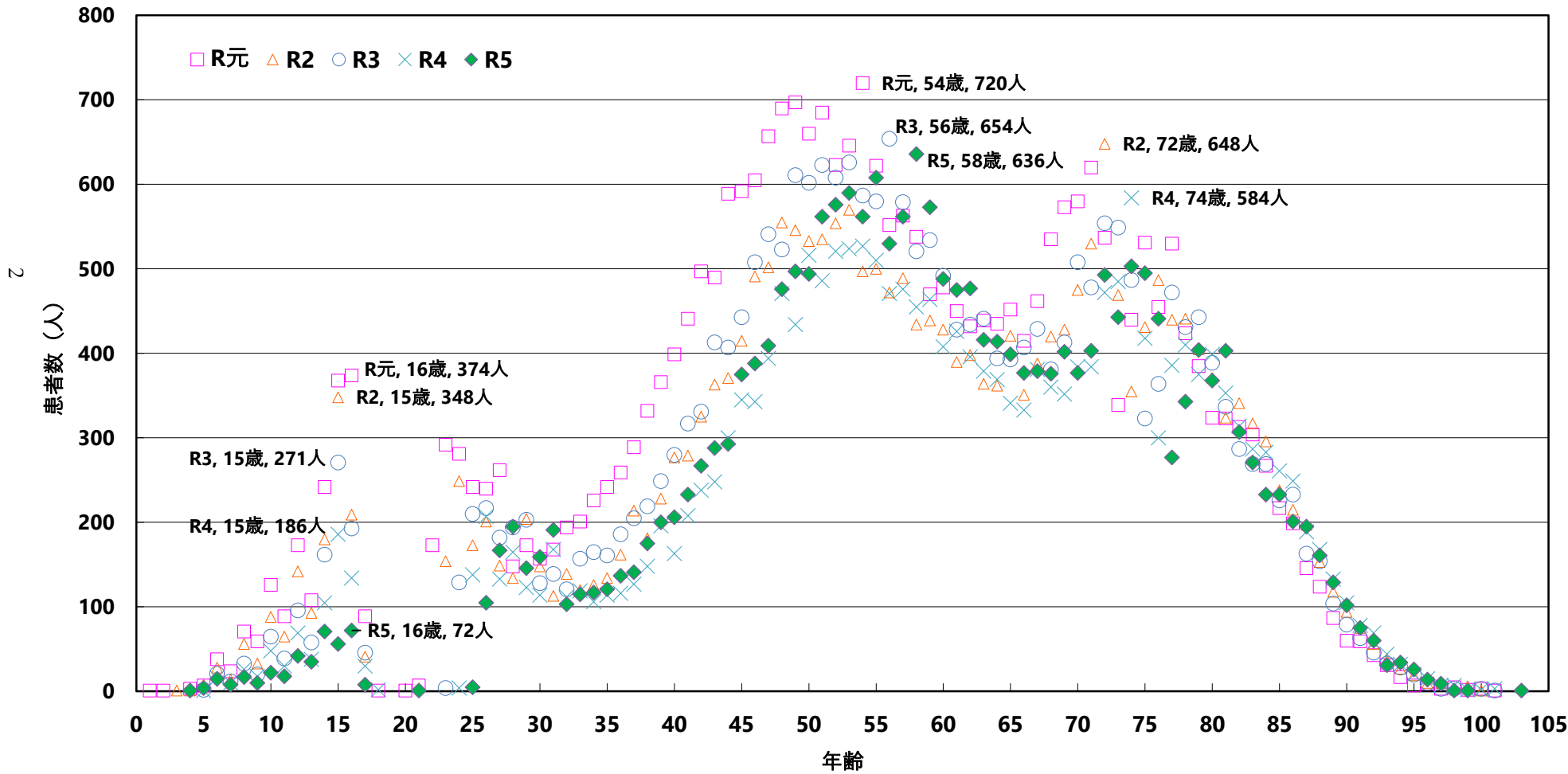
大気汚染医療費助成制度の患者データ年度推移

令和元年度から令和5年度までの5年間の患者データについて、各項目別に年度毎の結果を比較した。

1 年齢分布

(1) 各年齢の年度別患者数

15～16 歳、50 歳代、70 歳代前半の三峰性が認められる。50 歳代、70 歳代前半の峰は、年々右方向へ移動している。



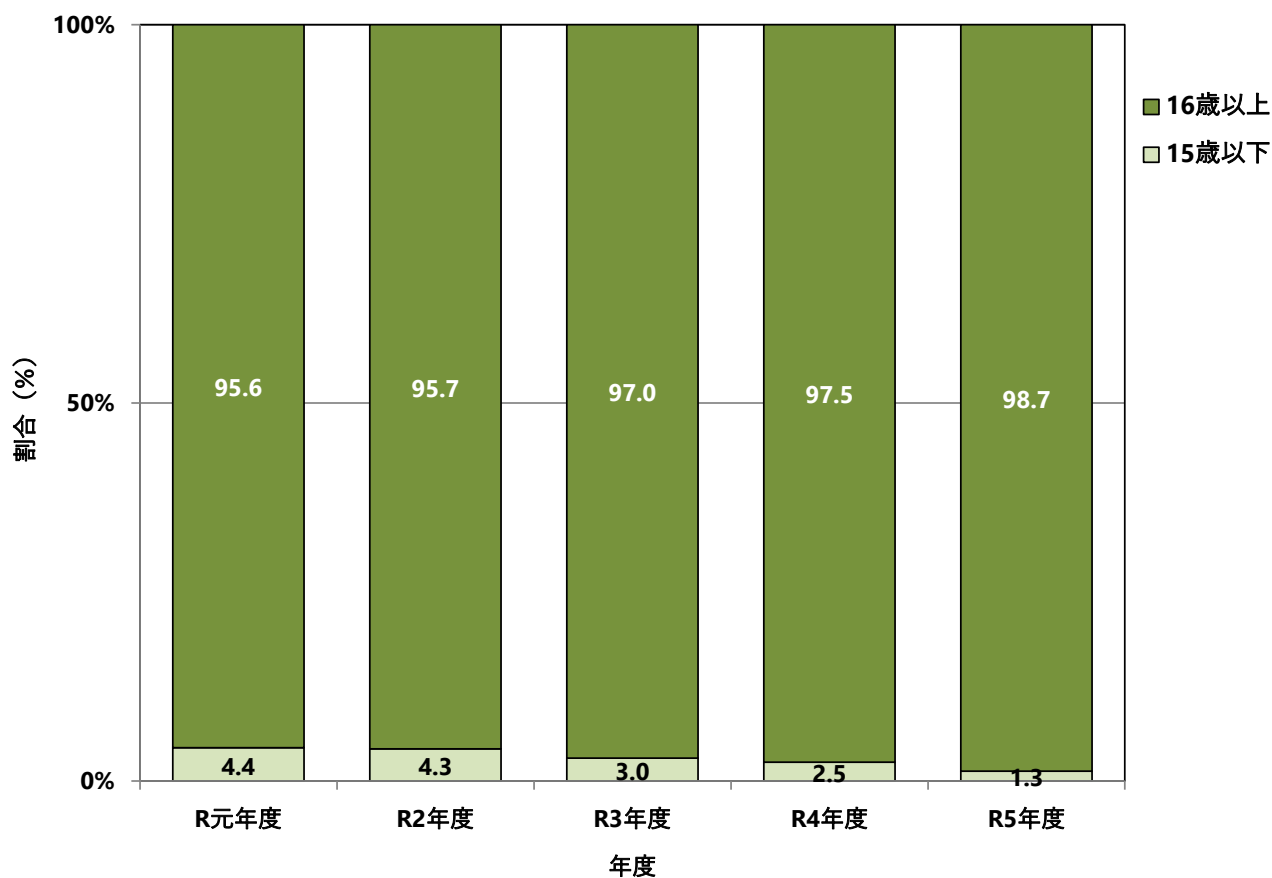
年度別年齢分布

(2) 年度別の年齢階級別患者数割合

0歳から39歳までの患者割合は、減少傾向にある。

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
0-1歳	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2-5歳	11	0.0%	10	0.0%	2	0.0%	1	0.0%	5	0.0%
6-11歳	407	1.4%	284	1.1%	190	0.7%	148	0.7%	90	0.4%
12-15歳	891	3.0%	763	3.1%	587	2.3%	398	1.8%	204	0.9%
16-19歳	464	1.6%	250	1.0%	239	0.9%	166	0.8%	80	0.4%
20-39歳	4,253	14.3%	2,829	11.4%	2,869	11.2%	2,090	9.6%	2,078	9.1%
40-59歳	11,736	39.4%	9,147	36.9%	10,288	40.0%	8,094	37.0%	9,125	40.0%
60-74歳	7,187	24.1%	6,427	25.9%	6,788	26.4%	6,054	27.7%	6,422	28.1%
75歳以上	4,869	16.3%	5,112	20.6%	4,753	18.5%	4,909	22.5%	4,815	21.1%
総計	29,819		24,822		25,716		21,860		22,819	

15歳以下の患者数割合は、減少傾向にある。



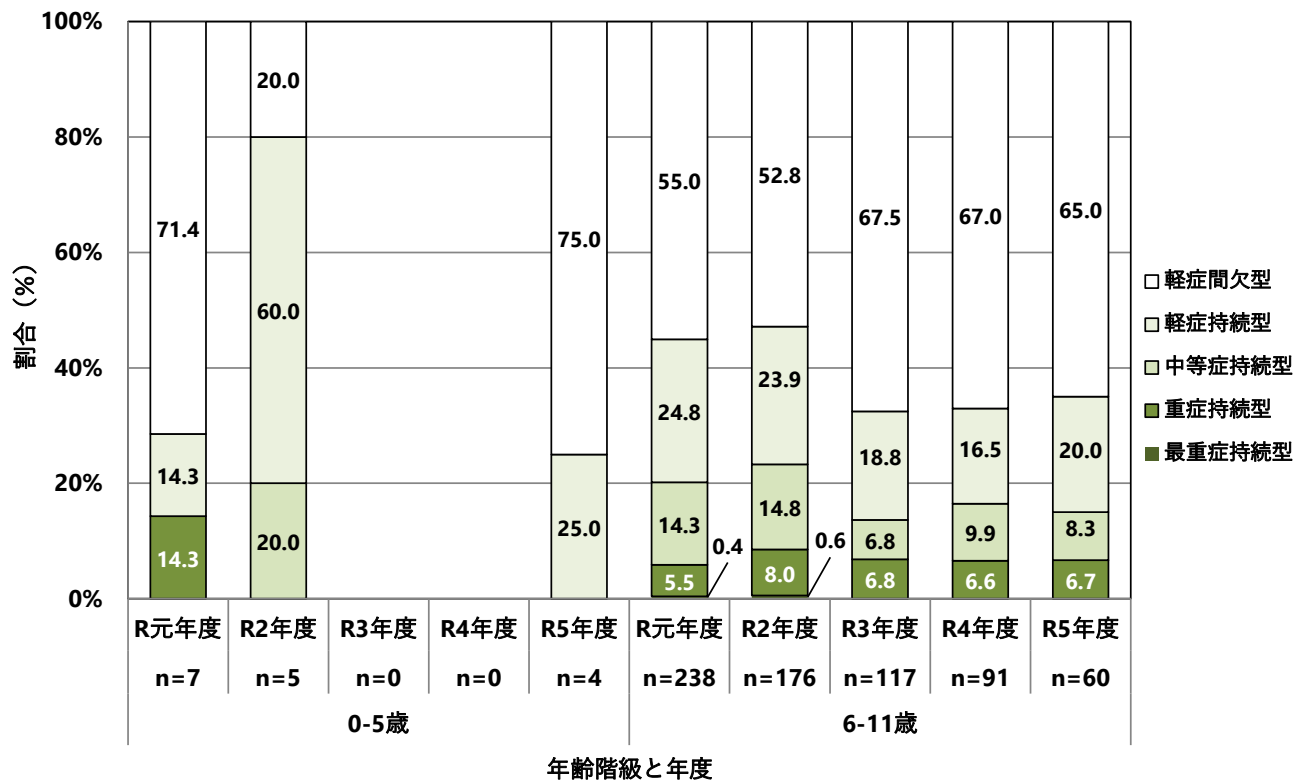
年齢2階級別・年度別患者数

2 重症度分類

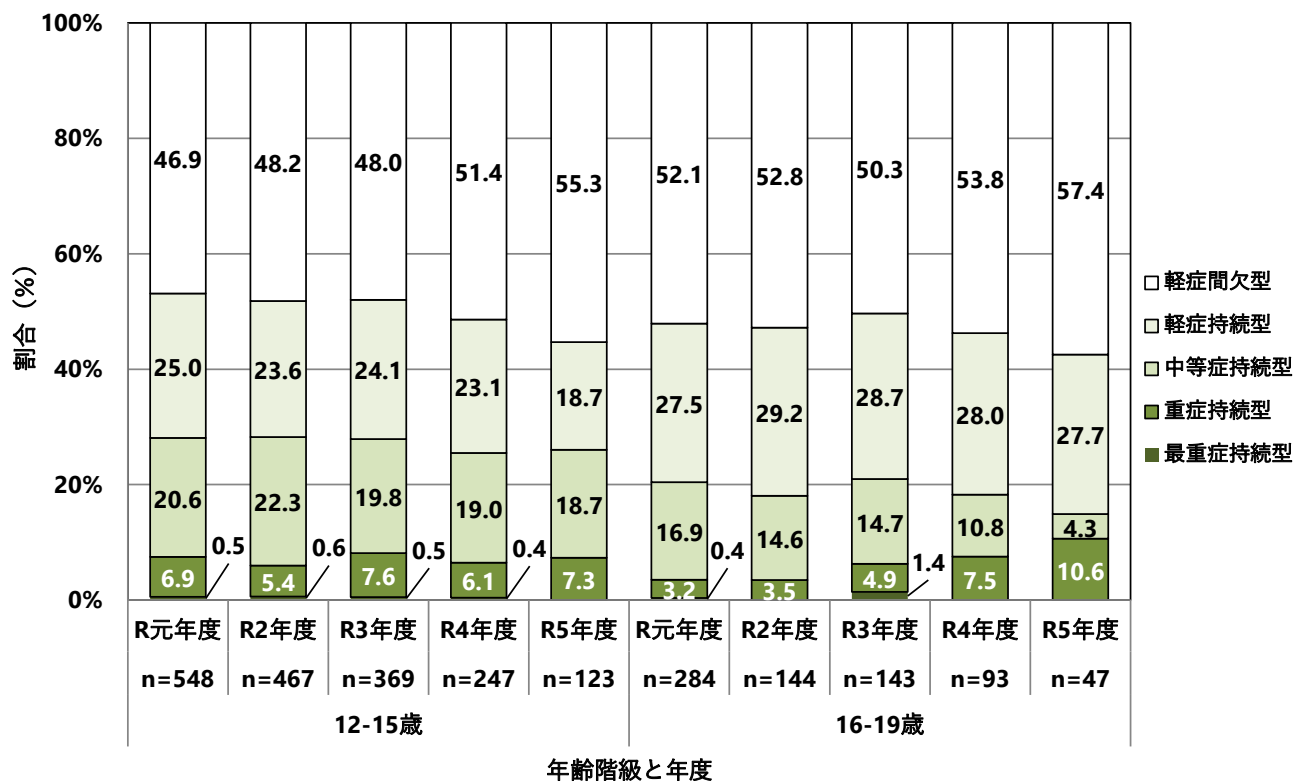
年度別年齢階級別の重症度分布について、男女ともにここ5年間で大きな変化はなく推移している。（n数が少数の「0-5歳」の階層を除く）

（1）年齢階級別＜男性＞

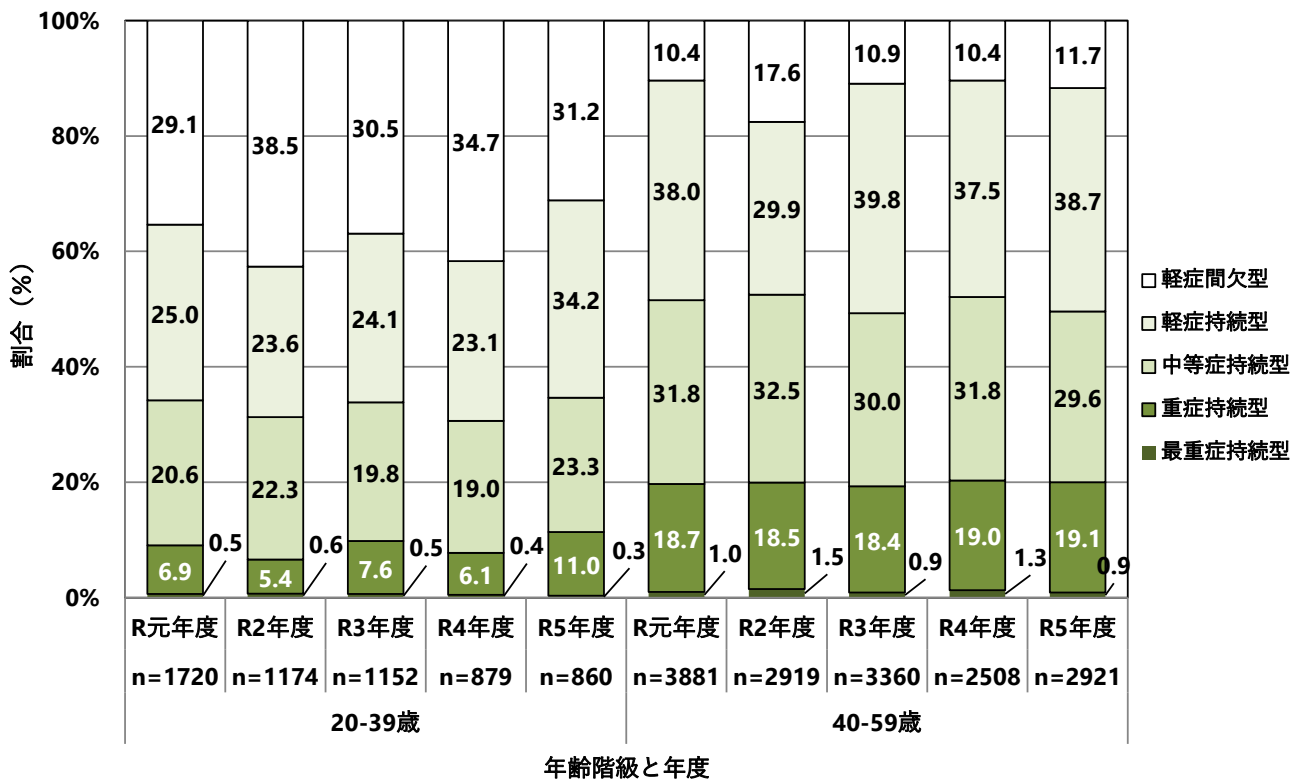
＜男性＞



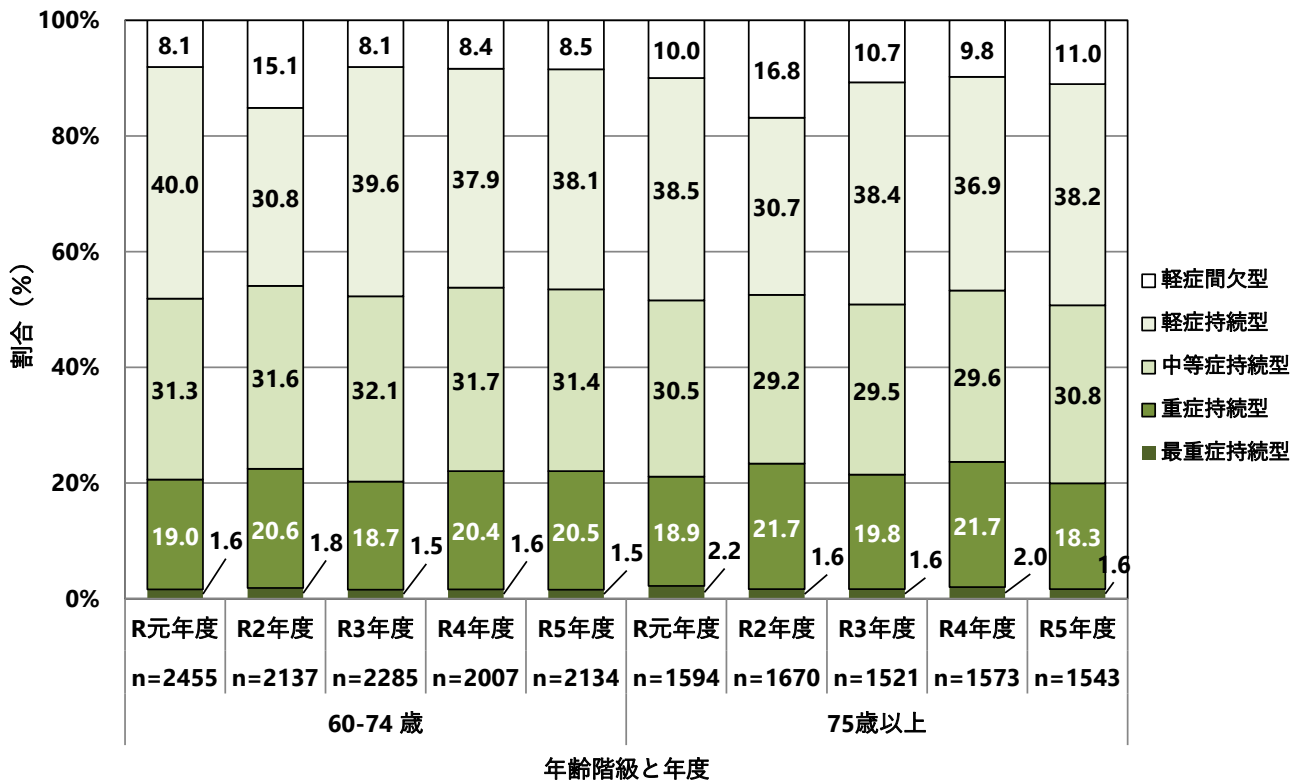
＜男性＞



< 男性 >

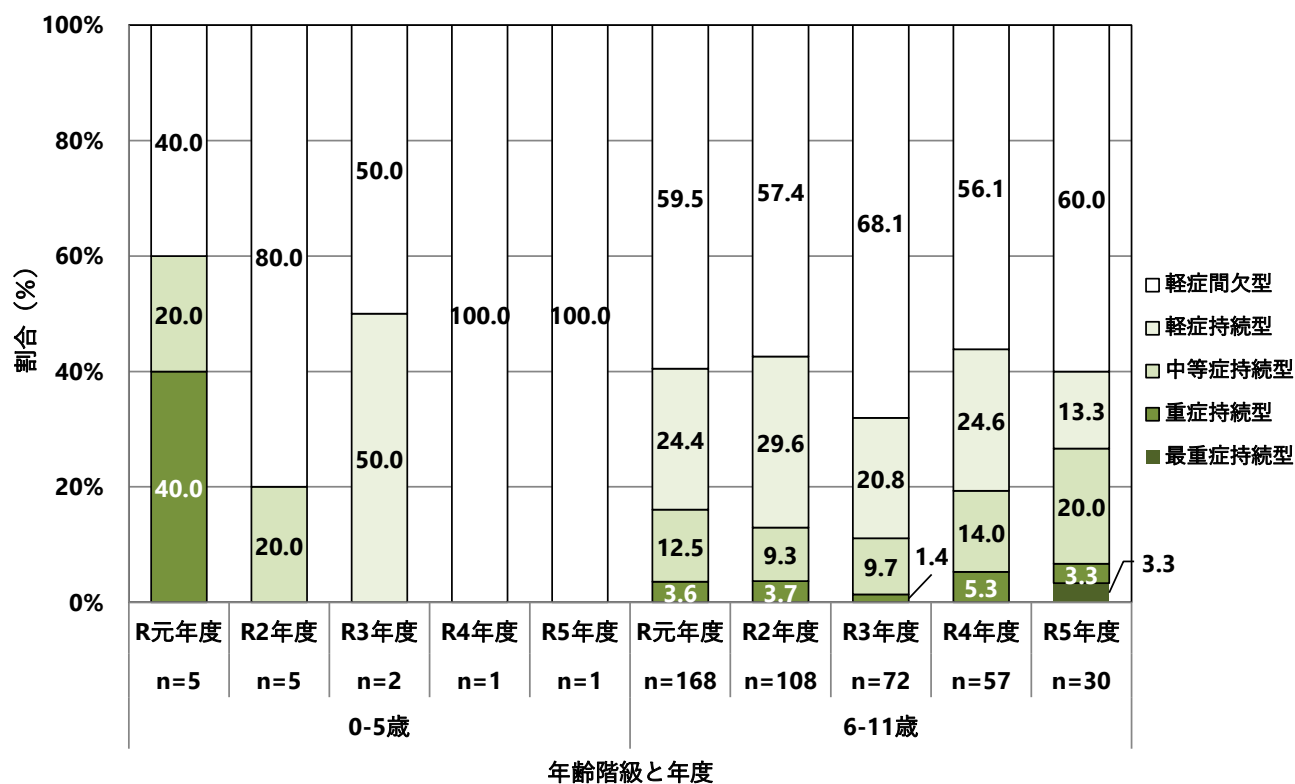


< 男性 >

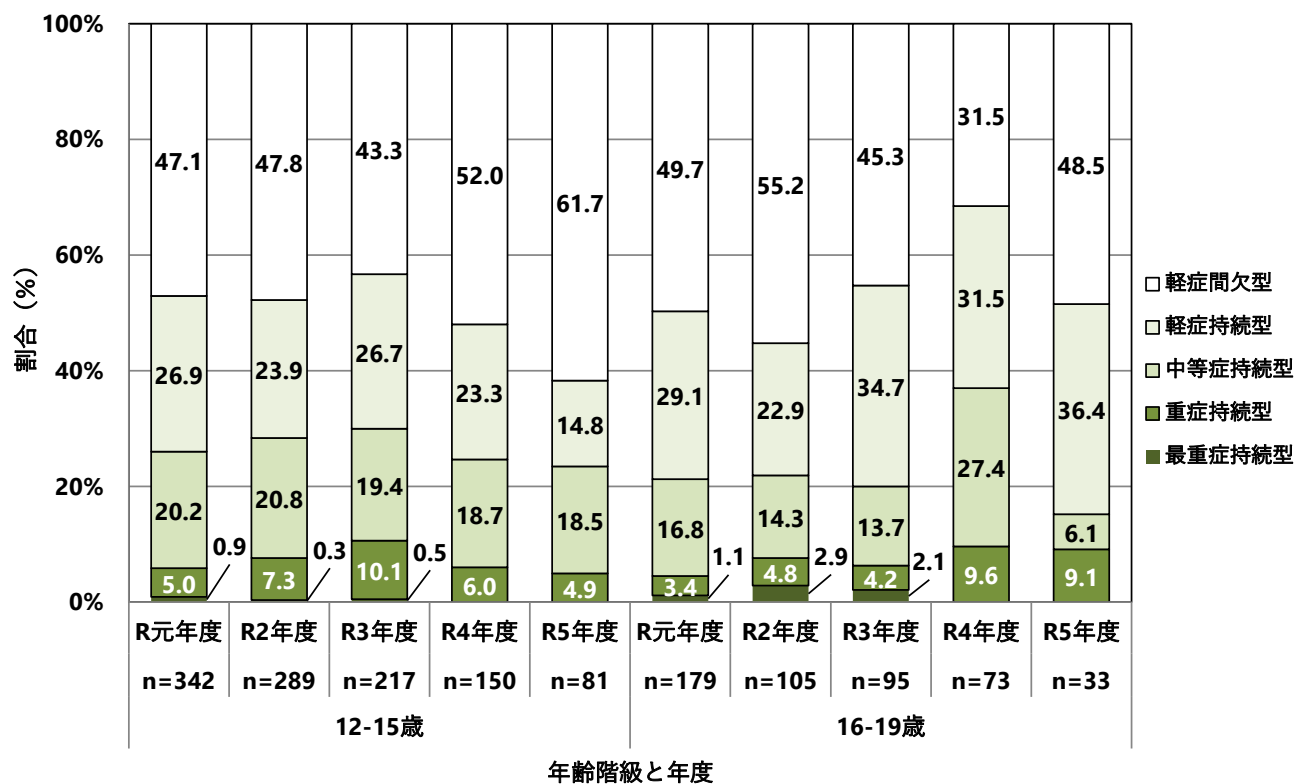


(2) 年齢階級別＜女性＞

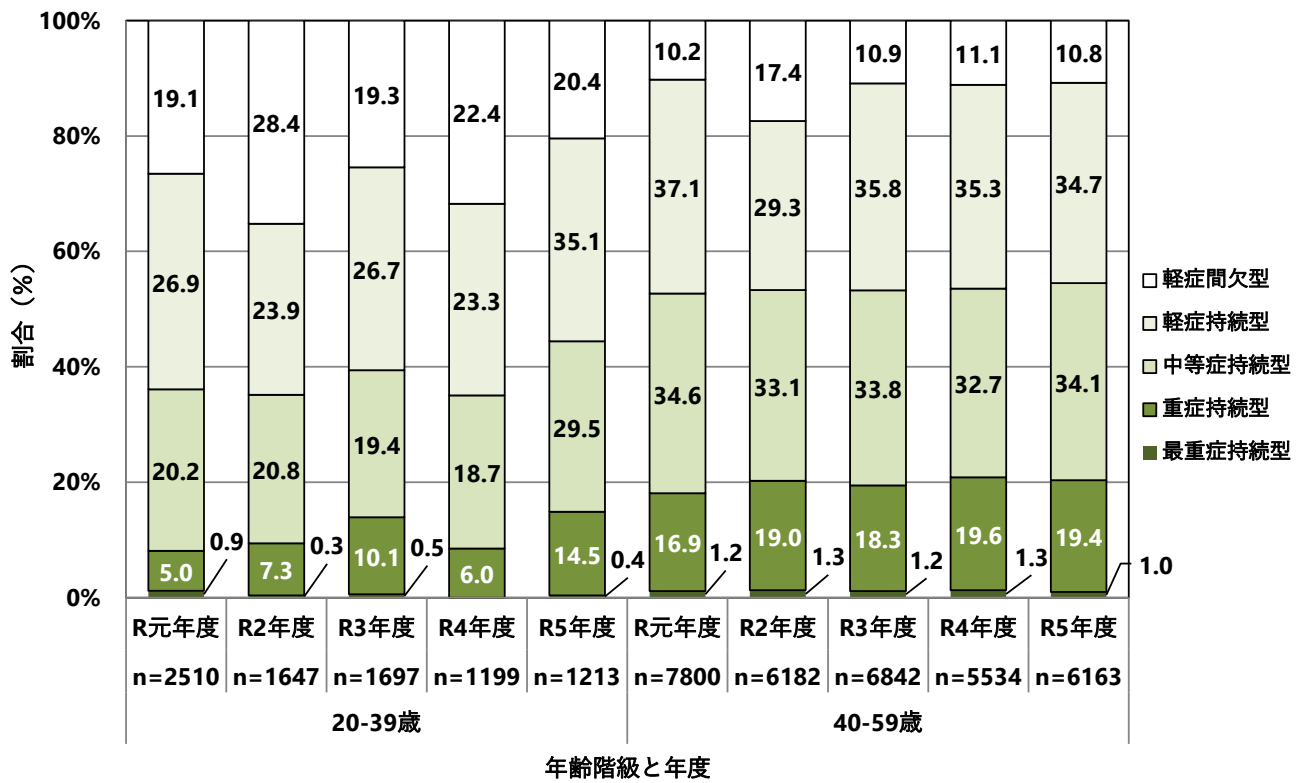
＜女性＞



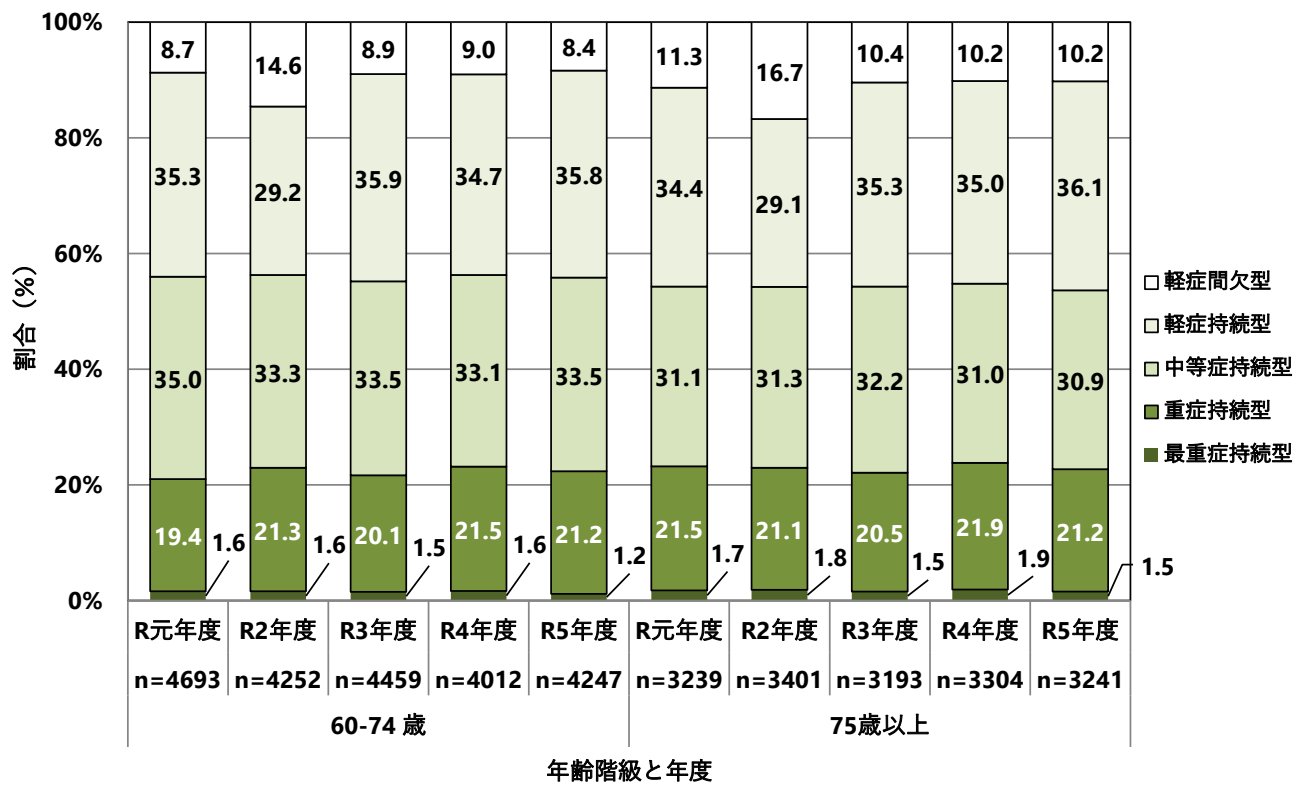
＜女性＞



<女性>



<女性>



3 喫煙

(1) 能動喫煙

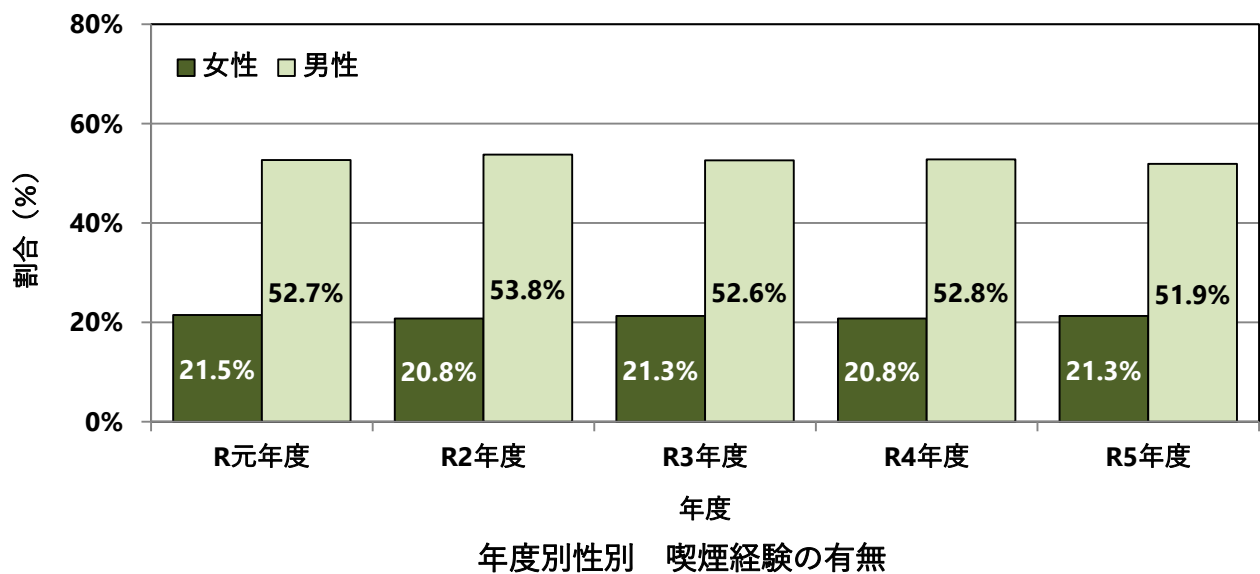
a 全体

全体の能動喫煙経験「あり」の割合は、ここ5年間でほぼ横ばい傾向にある。

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
喫煙経験あり	32.3%	32.0%	31.9%	31.4%	31.6%

b 男女別

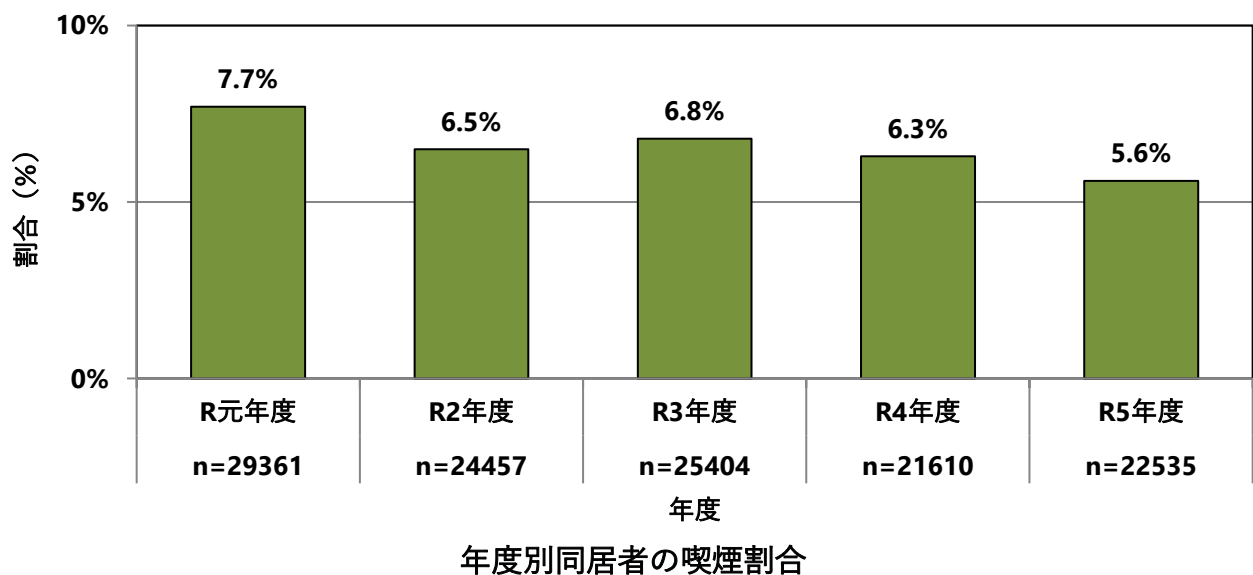
男女別で見た能動喫煙経験「あり」の割合は、男女ともにここ5年間でほぼ横ばい傾向にある。



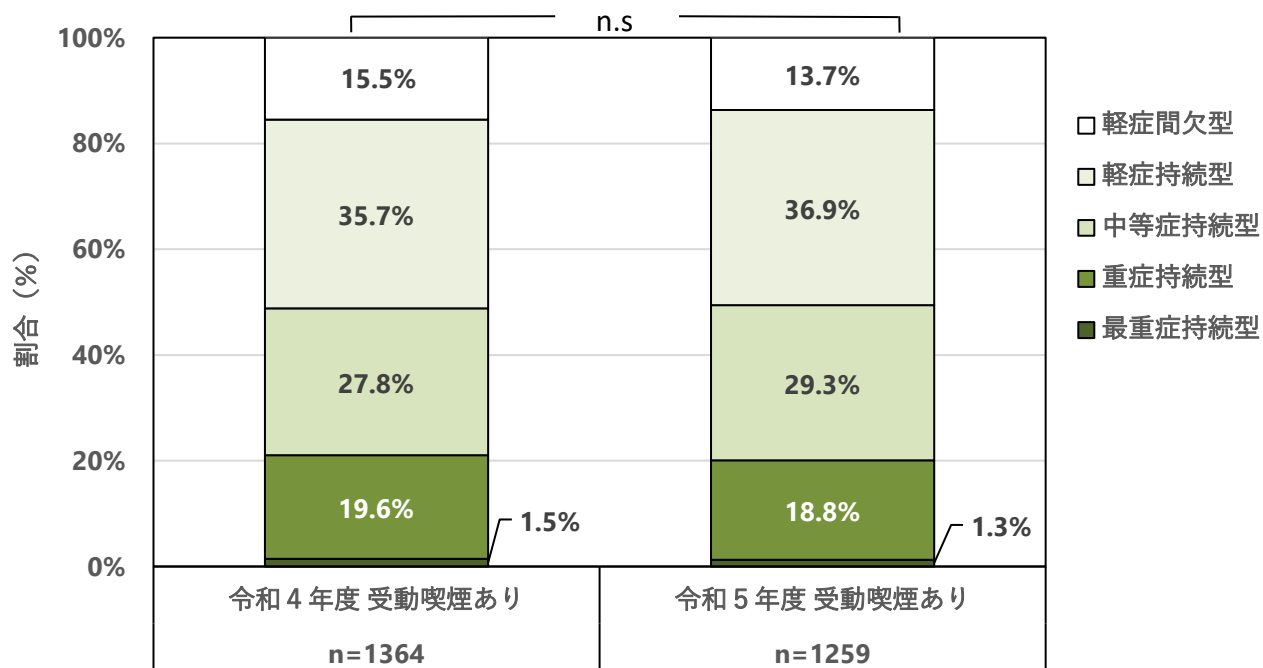
(2) 受動喫煙

同居者の喫煙（主治医診療報告書より）

同居者の喫煙割合は、減少傾向にある。

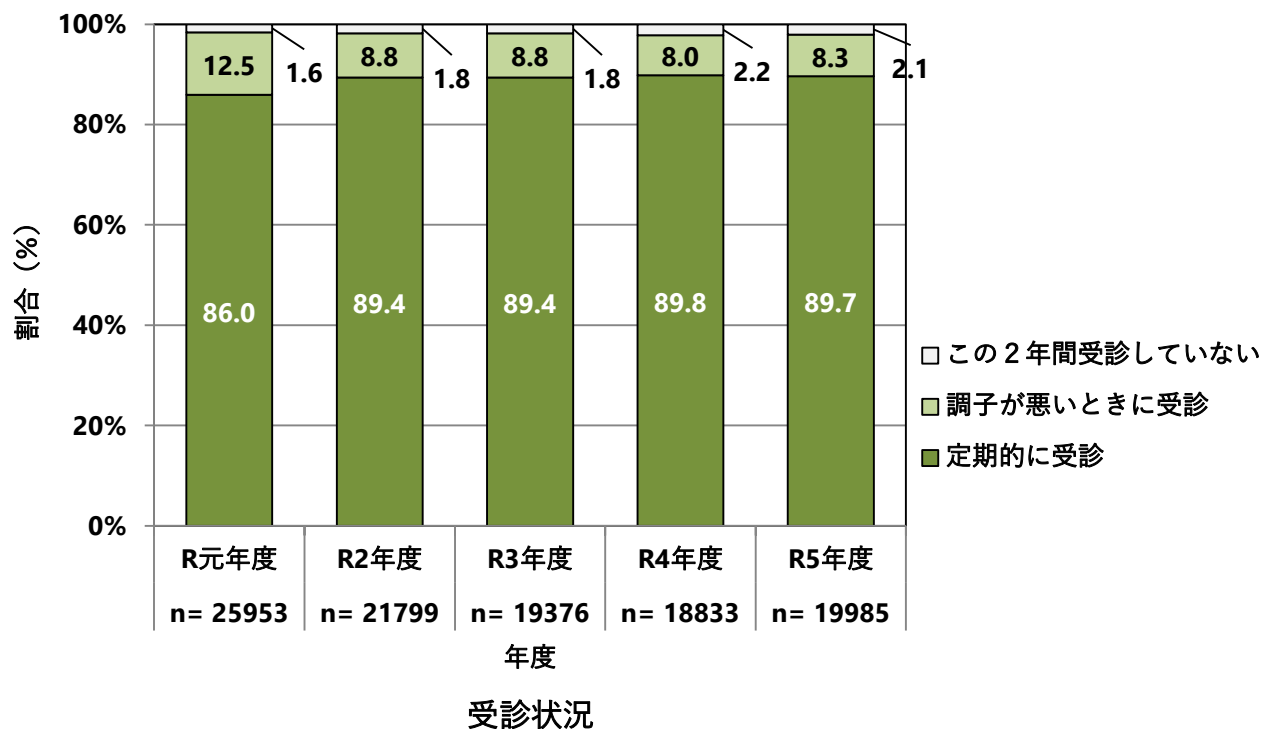


同居者の喫煙のある方について、令和4年度と5年度との重症度割合でリジット解析を行った結果、重症度での有意な差は認められなかった。



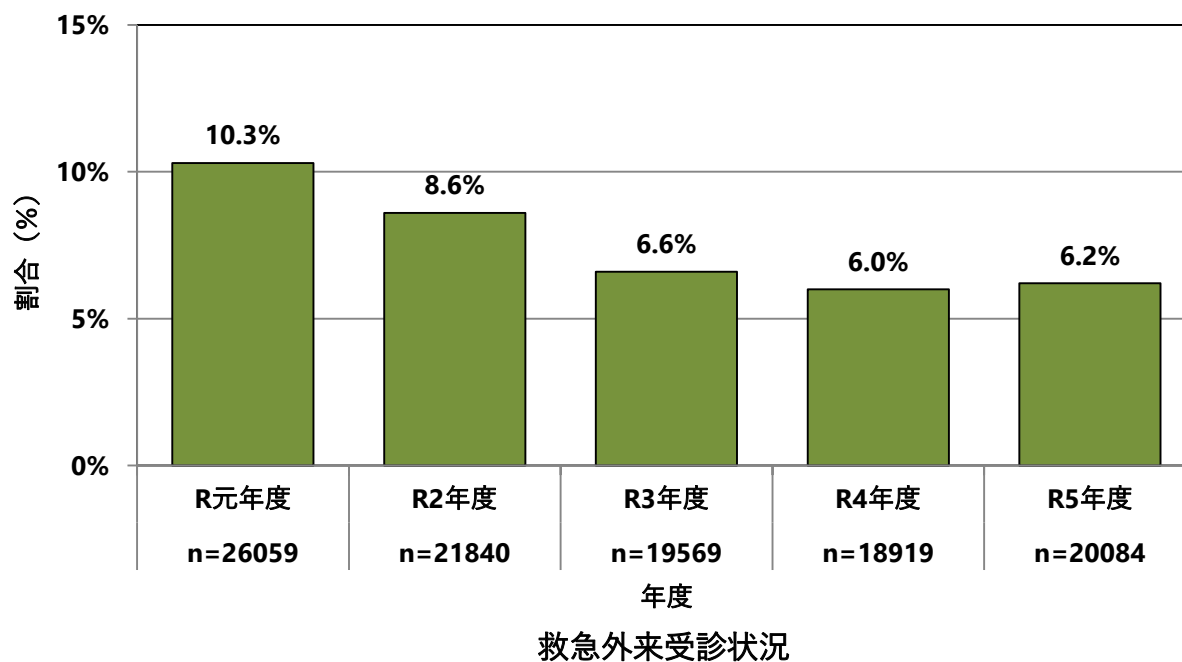
令和4年度と5年度の同居者の喫煙と重症度との関係

4 受診状況

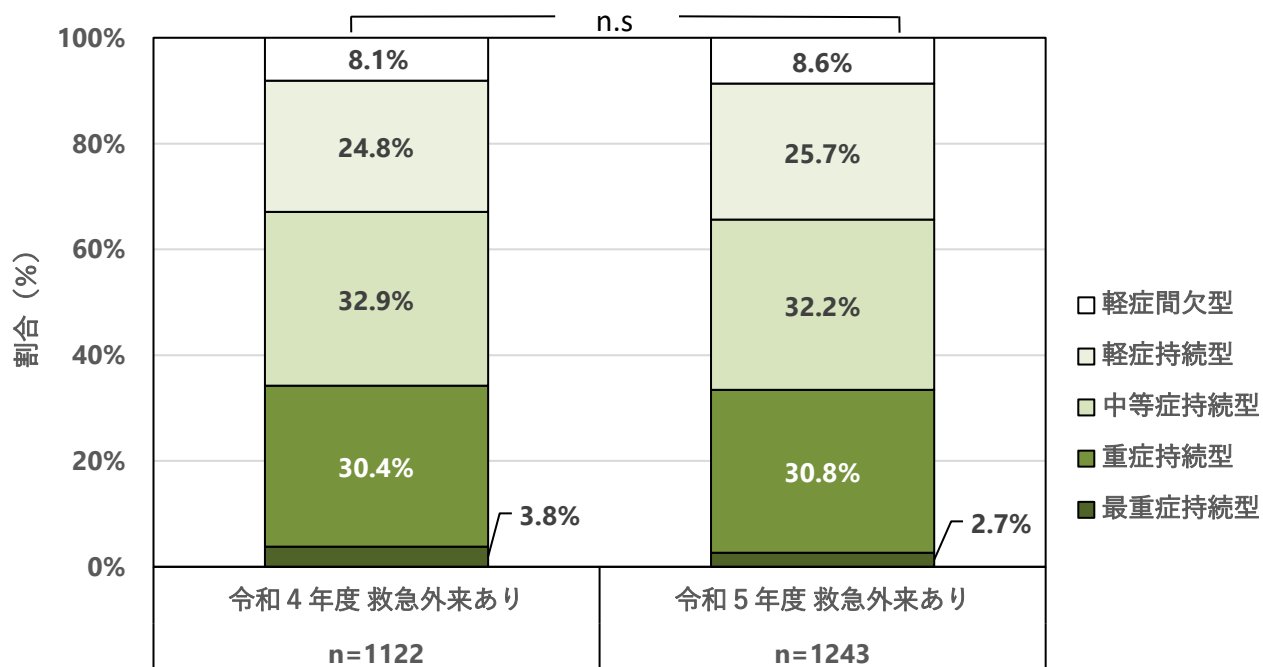


5 救急外来受診状況

救急外来受診の割合は減少傾向にある。

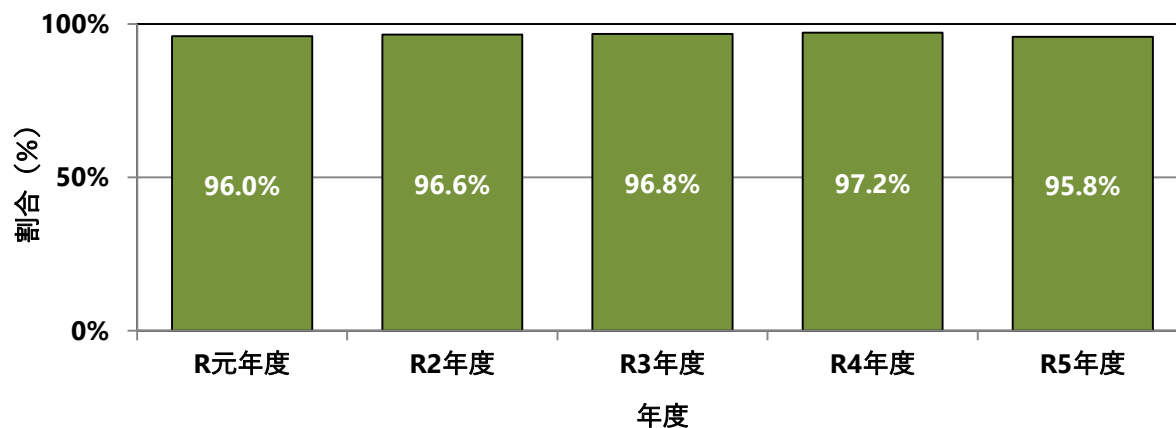


救急外来を受診した方について、令和4年度と5年度の重症度割合でリジット解析を行った結果、重症度での有意な差は認められなかった。

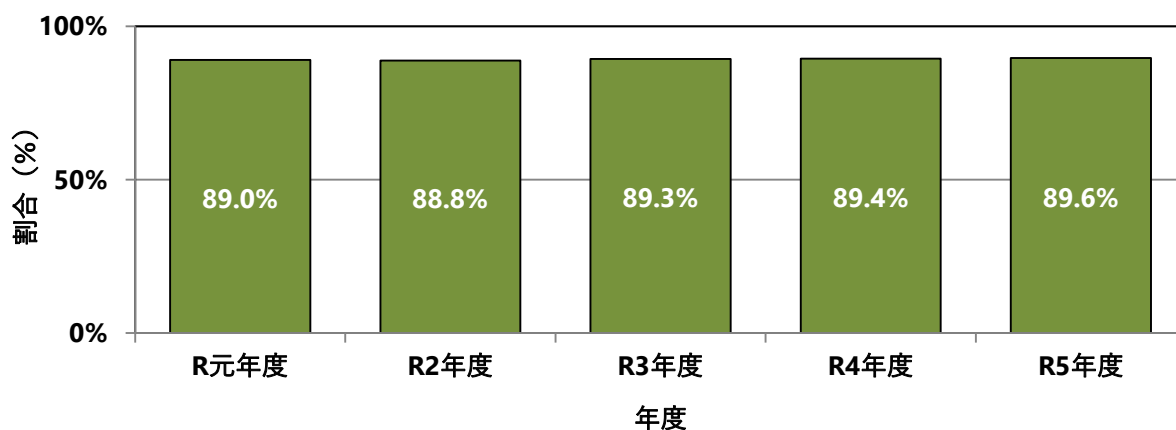


6 治療薬（吸入ステロイド薬）

吸入ステロイド薬使用状況については、ここ5年間でほぼ横ばい傾向にある。



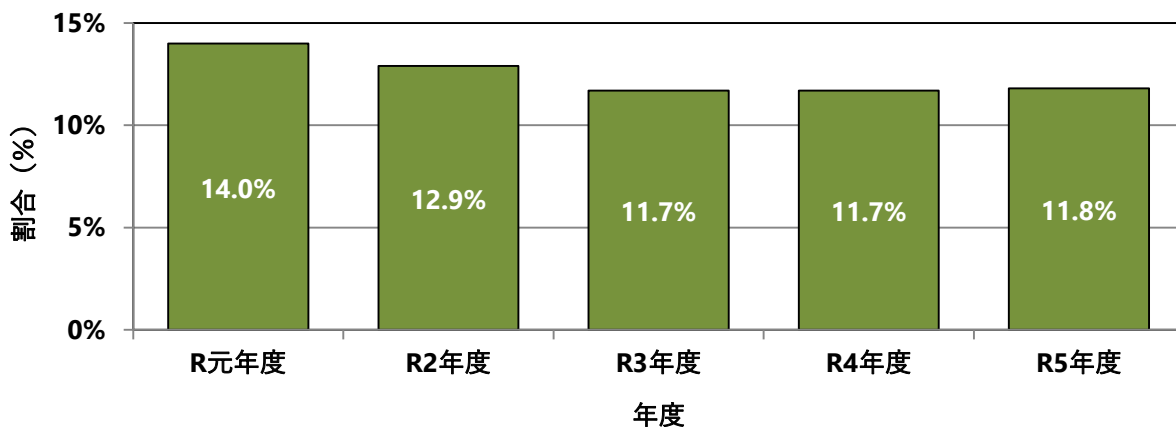
15歳以下で軽症持続型以上の患者の吸入ステロイド使用状況推移



16歳以上の患者の吸入ステロイド使用状況推移

7 呼吸機能検査実施率の推移

機能検査実施割合は令和3年度まで減少していたが、以降は概ね横ばいである。



呼吸機能検査実施率の推移